

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	52
2. 大学等名	津田塾大学
3. テーマ	IV. 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）
4. 取組学部等名	学芸学部、総合政策学部
5. 事業期間	平成27年度～令和元年度（5年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(359文字)
<p>本事業は、本学が培った女子リベラルアーツ教育の伝統を平成24年の中央教育審議会答申が求める「大学教育の質的転換」に重ね合わせ、留学、インターンシップやボランティア等の学外学修の機会をより多くの学生に与え、それら広義の社会体験活動と学内学修との間のシナジー効果により、学びを通じた女性のエンパワーメント・女性による社会のエンパワーメントのさらなる促進をその目的とする。長期（1ヶ月以上）学外学修の制度化および学年歴（学事歴）の見直し（ギャップターム導入）を軸とする本事業は、女性のエンパワーメントをより強化・加速させ、このような教育環境で育った学生たちは、本学がこれまで社会の様々なセクターに送り出してきた人材同様、卒業後、自立した女性として地域社会・日本社会、ひいては国際社会のエンパワーメントに必ずや寄与するであろう。</p>	